

関係各位

「2026 年度第 1,2,3 回 ISO/IEC 国際標準化人材育成講座
(ヤングプロフェッショナルジャパンプログラム、通称“ヤンプロ”)
受講生募集について

2026 年 4 月 13 日

経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証政策課
一般財団法人日本規格協会

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、経済産業省主催の ISO/IEC 国際標準化人材育成講座（通称ヤンプロ）は、2012 年度から開始し、これまでに IEC 分野で 5 回、ISO 分野で 2 回、ISO/IEC 分野共通として 24 回実施してきました。本年度のヤンプロ講座は、下記の日程で開催することとし、受講生募集を開始いたしますのでご案内申し上げます。

添付の募集要項をご確認いただき、本プログラムの趣旨にご賛同いただける貴社・貴団体におかれましては、社内・団体内にて人選いただき、下記の要領によってご応募をお願いいたします。

なお、応募者多数の場合、受講者は応募書類により審査選考をさせていただく予定ですので、ご希望に添えない場合もございますことをあらかじめご了承ください。開催形態につきましては、全回対面開催を予定しております。

本プログラムは、経済産業省が主催し、一般財団法人日本規格協会が受託して実施する事業です。

記

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
開催日 Day1	2026 年 6 月 3 日(水)	2026 年 10 月 5 日(月)	2027 年 1 月 12 日(火)
Day2	2026 年 6 月 8 日(月)	2026 年 10 月 19 日(月)	2027 年 1 月 29 日(金)
Day3	2026 年 6 月 23 日(火)	2026 年 11 月 2 日(月)	2027 年 2 月 12 日(金)
Day4	2026 年 7 月 10 日(金)	2026 年 11 月 10 日(火)	2027 年 3 月 3 日(水)
募集開始日	2026 年 4 月 13 日(月)	2026 年 4 月 13 日(月)	2026 年 4 月 13 日(月)
募集締切日	2026 年 5 月 11 日(月)	2026 年 9 月 10 日(木)	2026 年 12 月 10 日(木)
結果通知	2026 年 5 月 18 日(月)	2026 年 9 月 17 日(木)	2026 年 12 月 17 日(木)

※各回が Day1～4 で構成されており、修了には 4 日間全日参加いただく必要があります。

【開催場所】 日本規格協会本部 8 階 セミナールーム（東京）

【応募方法】 各応募締切日までに募集要項に記載の URL からお申し込みください。

【参加者の選考】 応募者多数の場合、応募書類による書類選考を実施します。

選考の結果は、上表各回の結果通知日を目処に応募者全員にご連絡いたします。

【問い合わせ先】

一般財団法人日本規格協会

標準化企画・管理ユニット ISO/IEC 国際標準化人材育成講座事務局 担当：池ノ谷

IEC活動推進会議（IEC-APC）事務局 担当：村井

*在宅勤務中場合がありますのでお問合せはメールでお願いいたします。

E-Mail : isunit-seminar@jsa.or.jp

以 上

「2026年度第1,2,3回 ISO/IEC 国際標準化人材育成講座（通称ヤンプロ）」 募集要項

2026年4月13日

経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証政策課

一般財団法人 日本規格協会

1. 本プログラムの趣旨・目的

<趣旨>

日本産業標準調査会（JISC）において2023年6月に取りまとめられた、「日本型標準加速化モデル」でも示されている通り、戦略的な標準化への取組は我が国産業の競争力強化において重要なツールの一つです。本プログラムはそのような背景を踏まえ、国際的な場で我が国の意見を十分に主張し、議論を牽引できるような、ISO/IEC分野の人材育成を目指す取組です。

<目的>

国際ビジネスにおける国際標準化活動の意義を十分に理解した上で、国際標準化の審議等において、日本からの提案をリードしていけるような人材を育成するため、今後国際標準化活動に携わる若手を主な対象として、国際標準化活動に必要な基本的なスキルセットを学ぶ場及び人的ネットワークを形成する場を提供します。

本プログラムの受講修了者には、所属組織において以下のような活動への継続的な関与が期待されま

す。

- ① 国際標準化や国際的な認証スキーム構築の場にエキスパートとして参加し、さらには、WG コンビナーや国際幹事、議長等の役割を果たす。
- ② 国際標準化や認証を通じた産業活性化のために必要な取組を行う。

また、受講修了者のこれらの活動への継続的な関与により、国際標準化の推進に大きく貢献するとともに、我が国産業のさらなる発展に資することを目指します。

2. 概要

本年度は、下表の通り4日間のプログラム（Day1～4）を計3回開催予定です。3回とも東京での開催を予定しておりますので、ご都合のつく日程にご応募ください。第1回の募集開始とあわせて、第2回と第3回の募集も開始いたします。

	第1回	第2回	第3回
開催日 Day1	2026年6月3日(水)	2026年10月5日(月)	2027年1月12日(火)
Day2	2026年6月8日(月)	2026年10月19日(月)	2027年1月29日(金)
Day3	2026年6月23日(火)	2026年11月2日(月)	2027年2月12日(金)
Day4	2026年7月10日(金)	2026年11月10日(火)	2027年3月3日(水)
募集開始日	2026年4月13日(月)	2026年4月13日(月)	2026年4月13日(月)
募集締切日	2026年5月11日(月)	2026年9月10日(木)	2026年12月10日(木)
結果通知	2026年5月18日(月)	2026年9月17日(木)	2026年12月17日(木)

【場所】日本規格協会本部 8階セミナールーム（東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti）

https://webdesk.jsa.or.jp/common/W10K0700/?post_type=jsahp&page_id=jsa_access#honbu

【内容及び講師】

国際標準化活動への関与を通じて、企業ビジネスの将来の核となるべき人材の育成を目的とした、座

学及びディスカッションを中心とした講座です。時間は4日間とも1日約8時間（休憩1時間）の予定です。※

※詳細は6ページの開催日程（予定）をご参照ください。

注）本講座と日本規格協会主催の「国際標準化セミナー」（初級編、中級編、上級編）との違い

日本規格協会主催の国際標準化セミナーは、標準化の基礎知識及び Directives（専門業務用指針）の詳細内容を中心とした研修になります。一方、本講座は、国際会議において自身の提案を効果的に推進するための実践的なノウハウに主眼を置いた研修になります。そのため、将来エキスパート等として国際会議への参加を目指す方には両方の研修を受講されることを推奨します。

3. 応募方法

下記の応募フォームより必要事項を入力し、お申し込みください。

<https://webdesk.jisa.or.jp/form/?p=14475>

所属上長推薦書について：フォーム内に「所属上長推薦書」の入力項目がございます。あらかじめ推薦内容を所属上長に聞き取り、テキスト等でご準備のうえ、入力にお進みいただくことをお勧めいたします。なお、入力途中で保存し、再開することはできません。

質問項目は以下のとおりです。

- ◆ 応募者の業務従事状況
- ◆ 応募者の国際標準化／適合性評価への関与状況（予定を含む）
- ◆ 推薦理由、応募者に係る特記事項他

4. 応募要件

- ◆ ISO 又は IEC の国際標準化に携わっている、若しくは今後携わる可能性がある方
- ◆ 標準化活動に熱意を持って取り組んでいる方
- ◆ 所属する企業や団体等から、本講座への参加について推薦のある方（応募用紙の所属上長推薦書の提出は必須）
- ◆ 本講座の受講後、所属組織内での内容共有（報告会等）を実施いただける方
- ◆ 英語の素養があり本講座を契機に今後さらにスキルアップする志のある方（主な講座は日本語ですが、ロールプレイング、及び最終回の修了発表等を英語で行っていただきます。）
- ◆ 講座（4日間）のすべてに参加いただける方
- ◆ 国際標準化について基礎知識のある方
経済産業省が公表している「標準化実務入門」

https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/katsuyo/jitsumunyumon/pdf/2015text_zenbun.pdf

の第1章、第2章、第3章第2節、第5章第1節～第3節、第6章第4節、第7章等を事前に読んでいただくのが望ましい。

注）本プログラムは、主に国際標準化活動の実践経験が浅い方を対象としており、応募にあたり年齢要件はございません。なお、海外の同種の事業には年齢要件がある場合がございますので、ご注意ください。例えば、IEC が主催するヤンプロ（正式名称: IEC Young Professionals Workshop, <https://www.iec.ch/yyps/yp-workshop>）では、20 歳代前半から 30 歳代半ばまでの者が参加となっております。

5. 費用

講座の受講料は無料です。

講座への参加に必要な旅費、宿泊費等は参加者の負担になりますのでご注意ください。

6. 募集定員

1 開催につき 20 名（1 企業・団体あたり原則 1 名。複数名の応募も可能ですが、多くの組織から参加していただくため、定員を超える応募があった場合は、2 名以上の応募をされた企業・団体には 1 名への人選をお願いする場合があります。）

7. 参加者の選考

応募者が多数の場合は、応募書類による選考を実施する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。主な選考基準は、国際標準化活動を始めるための人材育成の緊急度、本人の熱意、組織のコミットメントとする他、若手の育成及び受講生のダイバーシティ確保の観点も考慮します。選考の結果は、各回の結果通知日（2.概要の表を参照）を目処に全員に連絡します。

8. 企業、団体への応募時要請事項

受講者が本講座に優先して参加できるよう、ご配慮いただくことを要請します（応募に際して所属上長の推薦書が必要）。

また、本講座に人材を派遣していただく企業や団体は、その人材が国際会議に積極的に参加できるように、また、国際会議に必要な英語等の技術を向上できるよう、努力・支援していただくことを要請します。

9. 受講後の組織内共有について

本講座では、受講者個人のスキル習得に加え、本講座の学びを所属組織内で共有・活用いただくことを目的として、受講後の組織内共有をお願いしております。具体的には、所属組織内で報告会等の説明・共有の場を設け、上司・所属部署・関係部門等に対して内容共有を行っていただきます。こうした取り組みを通じ、人材育成や国際標準化活動に活かしていただくことを期待しております。

10. 個人情報の取扱いについて

応募時にご入力いただいた情報（個人情報含む）は、経済産業省及び一般財団法人日本規格協会において適切に管理の上、ISO/IEC 国際標準化人材育成講座の事業目的及び事業活動の評価、業務改善、事業フォローアップ並びに標準化人材育成の促進等のためにのみ保管・利用します。なお、選考により受講いただけない場合は、応募時にご入力いただいた全ての情報（個人情報含む）を破棄いたします。

11. その他の留意事項

- ◆ 受講後に受講者全員を対象とした、講座内容に関するアンケートを実施いたしますので、ご回答いただきますようお願いいたします。
- ◆ 今後、経済産業省における標準化人材育成の促進等を目的として、関連事業のご案内する場合があります。ご活躍状況に関するアンケート等を依頼することもございますので、併せてご協力のほどよろしくようお願いいたします。
- ◆ 本研修における参加のための移動中を含む研修外の時間でのトラブル等につきましては、経済産業省及び一般財団法人日本規格協会は一切の責任を負いかねますことをご了承ください。

12. 主催者

経済産業省

*本プログラムは、経済産業省から一般財団法人日本規格協会が受託して実施する事業です。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本規格協会

- ・標準化企画・管理ユニット ISO/IEC 国際標準化人材育成講座事務局 担当：池ノ谷
- ・IEC活動推進会議（IEC-APC）事務局 担当：村井

*在宅勤務中の場合がありますのでお問合せはメールでお願いいたします。

E-Mail : isunit-seminar@jsa.or.jp

以 上

「2026 年度第 1,2,3 回 ISO/IEC 国際標準化人材育成講座（通称ヤンプロ）」
開催日程（予定）

● 日時：

	Day1 10:00-18:00	Day2 10:00-17:45	Day3 10:00-18:00	Day4 10:00-17:30
第 1 回	6 月 3 日(水)	6 月 8 日(月)	6 月 23 日(火)	7 月 10 日(金)
第 2 回	10 月 5 日(月)	10 月 19 日(月)	11 月 2 日(月)	11 月 10 日(火)
第 3 回	1 月 12 日(火)	1 月 29 日(金)	2 月 12 日(金)	3 月 3 日(水)

● 場所：日本規格協会本部 8 階 セミナールーム（東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti）

● 講義・演習（全 4 日）：詳細のカリキュラムは、参加者に別途配布します。

- ◆ Day-1：標準化の社会的意義、ISO/IEC 国際交渉スキル、国際標準化の実務・規格開発手順
講師：（予定）

江藤 学 一般財団法人日本規格協会 フェロー
山田 肇 東洋大学名誉教授、一般財団法人日本規格協会 特別フェロー
江崎 正 一般財団法人日本規格協会 特別フェロー、前 IEC/SMB 委員

- ◆ Day-2：プレゼンテーション技法、規格と適合性評価、ISO/IEC 国際交渉経験談、ロールプレイ演習、講師講評/アドバイス、グループ討議 等

講師：（下記より 5 名予定）

浅井 光太郎 三菱電機株式会社
高橋 千織 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
高橋 弘 富士電機株式会社、IEC/CAB 委員
岡本 正英 株式会社日立製作所、IEC/SMB 委員
小出 啓介 川崎重工業株式会社、ヤンプロ修了生
半田 隆志 埼玉県産業技術総合センター、ヤンプロ修了生
弟子丸 将 公益財団法人鉄道総合技術研究所、ヤンプロ修了生
池山 智之 横河電機株式会社、ヤンプロ修了生

- ◆ Day-3：ロールプレイ演習、講師講評/アドバイス、グループ討議

講師：（予定）（下記より 1 名予定）

江口 伸 広島市立大学、IEC/TC 100/TA 15 国内標準化対応 G 主査
江崎 正 一般財団法人日本規格協会 特別フェロー、前
IEC/SMB 委員

- ◆ Day-4：ロールプレイ演習、修了発表会(英語)・修了式

講師：（予定）

江崎 正 一般財団法人日本規格協会 特別フェロー、前 IEC/SMB 委員
審査員：（予定）
江崎 正 一般財団法人日本規格協会 特別フェロー、前 IEC/SMB 委員
野田 耕一 一般財団法人日本規格協会 理事、規格開発本部長

以上